

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業に係る効果について(R2年度実施計画分)

R2年度新型コロナ地方創生臨時交付金実施計画に記載した事業(繰越事業有り)の全てが終了したため、内閣府地方創生推進室からの令和2年5月1日付事務連絡に基づき実施事業ならびに事業効果について下記のとおり公表いたします。

令和2年度実施計画に係る交付確定額:1,061,621,000円

実施計画 No.	事業名 ※実施計画における事業名※	事業費(円)	事業概要	事業効果	備考
1	マスク等必要物品調達事業	32,387,053	今後も確実に必要とされる物品の確保と配給に備えて必要な物品(マスク・消毒液等)の調達を行った。 実績:避難所用段ボールベット 100個 体温計171個、マスク、消毒液 等	各施設等において必要物品の確保・配置を行うことで感染防止対策および感染拡大防止に繋がった。	
2	新型コロナウイルス感染症に関する正しい知識の普及啓発・関連事業の情報発信事業	9,802,341	あらゆる手段を活用し正しい知識と情報をいち早く市民に周知を行った。ポスター、チラシ、新聞広告(共同メッセージ)等 実績:ポスター1,200枚 地元2紙計8回 チラシ23,000枚 等	感染状況や時季に応じた啓発・情報発信等を行うことで感染防止対策や感染拡大防止に対する市民の意識醸成に繋がった。	
3	市実施「女性がん検診等」における3密回避対策事業	10,379,210	「がん検診」等を予約制にし実施回数を増やすことで3密を避け感染拡大防止を図った。	利用者が安心して受診できる環境の構築ができた。	
4	市実施「お達者ご長寿応援券給付事業」における3密回避対策事業	4,189,577	これまで窓口での配布を実施していたものを郵送配布にすることで3密を避け感染拡大防止を図った。 発送実績:6,803件	接触機会の減少が図られ感染防止対策に繋がった。	
5	雇用維持に向けた副業応援助成金事業	1,100,000	新型コロナウイルス感染症の影響により休業を余儀なくされる者を一時的に雇用する事業者に対する助成金を支給し、事業所の雇用維持及び被雇用者の収入確保を図った。 実績:12人	事業所の雇用維持及び被雇用者の収入確保に繋がった。	
6	雇用支援制度活用促進補助金	3,472,397	申請手続きを代行する社会保険労務士への手数料の一部補助することで、国や県の雇用支援制度の活用の円滑化を図った。実績:22件	国や県の雇用支援制度の円滑な活用に繋がった。	
7	緊急経済対策商品券給付事業	226,734,042	全市民に「緊急経済対策商品券」を交付し市民生活支援と経済活動支援を図った。	市民生活支援と経済活動の活性化に繋がった。	
8	ひとり親世帯応援給付金事業	34,900,000	「ひとり親世帯」に対して給付金を交付し生活支援を図った。実績:698世帯	国の事業に先立ち実施し対象世帯の経済的支援に繋がった。	
9	通学バス等「3つの密」回避輸送能力確保事業	14,505,185	通学バス等における3密を回避し感染拡大防止を図った。	感染防止対策および生徒が安心して利用できる環境の構築に繋がった。	
10	事業所支援事業	66,704,990	国の持続化給付金の対象とならない事業者に対して市独自の支援金を給付することで事業継続支援を図った。実績:225事業所	国の制度を補完することで地域の実情に合わせたきめ細かな支援を実施できた。	
11	水道・下水道基本料金の減免事業	1,252,200	売上が減少した事業所に対し、一時的な固定経費を支援するため、水道・下水道の基本料金を減免し事業継続支援を図った。 実績:209事業所	事業者支援事業と連動し事業者の事務負担軽減を図ったとともに事業継続支援に繋がった。	
12	「緊急対策等プレミアム商品券」助成事業	47,371,372	不要不急の外出自粛や休業等により深刻な打撃を受けている飲食店を応援するため「プレミアム商品券」事業を実施し経済活動の維持を図った。	飲食店や感染防止対策実施店舗を支援することで、経済活動の維持および各店舗の感染防止対策促進に繋がった。	繰越
13	小中学校ICT環境整備事業	98,810,520	GIGAスクール推進に係る端末・ネットワーク等整備を実施した。 実績:生徒用969台、教師用120台等	GIGAスクール構想の推進に繋がった。	
14	水際対策強化事業	3,757,683	県・5市町村で連携し、奄美空港・名瀬港における水際対策(体温チェック等)事業の強化を行い感染拡大防止を図った。	水際対策が強化されたことで感染防止対策及び感染拡大防止が図られた。	

15	緊急経営支援利子補助金	354,034	国の融資制度開始前に、新型コロナウイルス感染症の影響により県の融資制度を活用した事業者への支援として、当該年度の利子分を補助し事業継続支援を図った。実績:5件	国の制度を補完することで地域の実情に合わせたきめ細かな支援を実施できた。	
16	緊急経済対策プレミアム商品券「ほーらしゃ券」発行事業助成金	157,278,409	プレミアム商品券について、経済対策としてプレミアム率上げて発行し、市民生活と店舗の事業継続支援を図った。	地域経済の活性化と事業継続支援に繋がった。	繰越
17	子ども世帯応援事業	67,884,320	1新生児特別給付金 国の特別給付金の基準日以降に誕生した新生児を対象に10万円/人を給付し子育て生活の支援を図った。実績:244名 2就学児世帯応援事業 休園等に伴い保育に影響の大きい世帯を応援するため商品券を給付し子育て生活支援を図った。 実績:1,653世帯 3島外で頑張る学生応援事業 休校や休職(アルバイト)の影響で帰省できずに島外で頑張っている学生へ激励金を給付し学生生活支援を図った。実績:899人 4児童養護施設で生活する学生の応援 児童養護施設で生活する子どもは新型コロナの影響で求職・進学も厳しい状況のため激励金を支給し社会への第一歩を応援した。 実績:7名	国の制度を補完するなど地域の実情に合わせたきめ細かな支援を実施できた。	
18	奄美満喫ツアー助成事業	1,225,738	来島者に助成を行うことで新型コロナにより影響のしている観光分野の活性化を図った。	新型コロナの影響を大きく受ける観光分野への支援に繋がった。	
19	緊急避難住宅整備事業	12,633,044	感染拡大防止を図るため、無症状者等を一時的に隔離することができる緊急的避難住宅を整備した。実績:7戸改修	感染防止拡大のための体制整備ができた。	
20	サーモグラフィー器械購入	6,825,060	サーモグラフィー器械等を常備し施設、行事等で利用することで感染拡大防止を図った。	イベント・会議への貸し出しをすることで、主催者・参加者が安心して事業をできる環境を構築できた。	
22	公共施設換気対策事業	3,060,684	不特定多数の市民が利用する公共施設等における密閉を回避するための換気対策のため換気設備、空調設備を改修し感染防止対策を図った。	換気対策により利用者が安心して施設を利用できる環境整備ができた。	
24	行政IT化事業	20,309,490	新型コロナ下及びアフターコロナの状況において市職員がテレワーク、オンライン会議、ペーパーレス会議等を支障なく遂行可能な情報通信環境を整備した。	コロナ禍における行政IT化の促進に繋がった。また、今後は効果的な活用及び市民サービスのオンライン化にも取り組んでいく。	繰越
27	キャッシュレス決済導入事業	3,091,000	公共料金の徴収にキャッシュレス決済を導入する事で来庁時の接触や来庁機会そのものの減少による感染防止対策を図った。	接触機会の減少が図られ感染防止対策に繋がった。	
28	福祉事業所等事業継続支援事業	2,589,956	市の「食」の自立支援事業を受託している事業所が新型コロナ感染防止のための物品購入をした場合にその費用を補助することで感染拡大防止を図った。実績:6事業所	感染防止対策を行うことで事業の安定した実施に繋げることができた。	
29	インフルエンザ予防接種助成事業	23,472,601	新型コロナとインフルエンザの感染が重なると重症化が危惧されるため高齢者へのインフルエンザの予防接種に助成を行った。 実績:9,089人	助成による高齢者の接種促進と重症化防止が図られた。	
30	店舗感染防止対策支援事業	65,840,260	飲食店をはじめとする各店舗の感染防止対策に係る費用の一部を助成し、感染防止対策を図った。実績:706件	店舗の感染防止対策の促進と利用者が安心して各店舗を利用ができる環境整備に繋がった。	

31	コロナ禍におけるマイクロツーリズム事業	633,600	減少の続く観光客の誘客対策として鹿児島県内の小中学校の修学旅行の誘致活動を行った。	今後の誘客に繋げるものでありコロナ後を見据え引き続き誘致活動を行っていく。	
32	「卒業の思い出づくり」応援事業	5,825,745	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各種行事が中止や縮小となった今年度の小中学校の卒業生に対し、「卒業の思い出づくり」として、費用の一部を助成し学校生活最後の卒業イベントを応援した。実績:31校	各学校の状況・特性に応じたイベント実施に繋がり学校生活最後のイベントへの応援ができた。	
33	奄美市新型コロナ対策官民連携協議会事業	19,080	現状における問題点、求められる施策に関する対応等について意見交換・情報の共有できる体制を整え、官民関係機関との連携強化を図るため、市対策本部会議等に医師を招聘した。	専門的な知見から意見をいただく事で効果的な新型コロナ対策の実施に繋げることができた。	
34	成人式映像配信事業	398,200	新型コロナの影響により帰省できない新成人者へ向けにお祝いメッセージや島出身者アーティストによる映像配信を行った。	映像配信を行うことで、島外からでも成人式に参加できる環境を提供できた。	
37	指定管理施設の管理維持体制持続化事業	45,012,000	新型コロナの影響により休館・休止等の措置をとった施設の安定的かつ持続的な管理運営に資するとともに感染対策を推進するために支援を行った。実績:14施設	施設の安定的かつ持続的な管理運営に繋がった。	
40	学校保健特別対策事業費補助金	1,258,994	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業) 感染症対策のためにマスク等を購入する費用の支援(補助事業)	市内各学校での感染防止対策及び感染拡大防止対策に繋がった。	
41	学校保健特別対策事業費補助金	4,032,435	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) 学校再開に伴う感染症対策や学習保障に関する費用の支援(補助事業)	市内各学校での感染防止対策及び感染拡大防止対策に繋がった。	
42	公立学校情報機器整備費補助金	1,205,106	(学校からの遠隔学習機能の強化事業) GIGAスクール構想の推進のための機能強化支援(補助事業)	GIGAスクール構想の推進に繋がった。	
43	奄美群島振興交付金	306,695,181	観光需要の回復を図るための各種事業(市実施)	コロナ禍、コロナ後を見据えた各種事業により観光分野への支援に繋がった。	繰越
44	奄美群島振興交付金	1,341,281	観光需要の回復を図るための事業への負担金「奄美群島エコツーリズム魅力体験事業」(奄美群島広域事務組合実施)	コロナ禍、コロナ後を見据えた各種事業により観光分野への支援に繋がった。	
45	奄美群島振興交付金	1,198,737	観光需要の回復を図るための事業への負担金「奄美群島滞在型観光促進事業」(奄美群島広域事務組合実施)	コロナ禍、コロナ後を見据えた各種事業により観光分野への支援に繋がった。	
46	学校臨時休業対策費補助金	3,510,115	【学校給食費返還等事業】 臨時休業に伴う学校給食休止に係る学校給食費を保護者に対して返還、食材キャンセル等に係る経費の支援(補助事業)	新型コロナによる事業者への影響を軽減することができた。	
51	長寿者褒賞事業	3,921,141	敬老祝い金について、接触機会の減少、密を避けるために口座振込に変更し感染防止対策を図った。支給実績:4,385件	接触機会の減少が図られ感染防止対策に繋がった。	
52	県内飲食店営業自粛要請推進事業(市単独事業)	8,870,844	営業自粛要請の影響を受けるタクシー業者及び自動車運転代行業者への支援を行い事業継続支援を図った。実績:24事業者	地域の実情に合わせたきめ細かな支援と事業継続支援に繋がった。	
合計		1,303,853,625	内、交付金充当額 1,061,621,000円 その他財源:国・県補助金、4町村負担金、一般財源等		

※No.がない事業は実施したが実績がなかったもの、交付金の充当を行わなかったもの等になります。

(奄美市総務部企画調整課)